

会 議 録

付属機関又は会議体の名称		教育に関する事務の点検・評価委員会(第3回)
事務局(担当課)		教育委員会事務局 教育総務部 教育総務課
開催日時		平成24年7月13日(金)午前10時30分～正午
開催場所		豊島区役所本庁舎地下1階 教育委員会室
出席者	委員	飯塚委員長、壺内委員(職務代理)、和田委員
	関係者	教育総務部長、学校運営課長、教育指導課長、統括指導主事
	事務局	教育総務課長、教育総務課庶務係長、教育総務課主事
公開の可否		<u>公開</u> ・非公開・一部公開 傍聴人数 0人
非公開・一部公開の場合、その理由		
会議次第		<p>【開会】</p> <p>1. 教育長挨拶</p> <p>【議事】</p> <p>1. 学校ICT機器の整備・活用</p> <p>2. 学校図書館の整備・充実</p> <p>3. 安全・安心な学校づくり事業(セーフスクール)</p>

審議経過

【開会】

1. 教育長挨拶

【議事】

＜事務局 外部評価について説明＞

飯塚委員長)

ただいまから外部評価の審議を始めたいと思います。学校運営課長、教育指導課長説明をお願いします。

1. 学校ICTの整備・活用

＜学校運営課長・教育指導課長 資料説明＞

飯塚委員長)

それでは、各委員からご意見をいただきます。いかがでしょうか。

和田委員)

電子黒板が各フロアに1台というお話がありましたが、昨年の点検評価委員会の学校視察の際にも千川中学校で各フロアに1台あれば移動ができて良いということだったと思います。今回、実際に千川中学校で電子黒板等を使った授業を見せていただいて、理科の授業の活用方法はとても良かったと思いますが、特別教室には備え付けてしまった方が良いと感じました。大きさも少し小さいと感じましたので、2倍くらいの大きさのものがありましたらさらに良いと思います。

学校運営課長)

昨年のご指摘から、中学校には各フロアに1台となりました。画面の大きさは約50インチのものを使っておりますが、中学生は小学生と比べて座高も高いので少し小さいと感じます。しかし、テレビ型の電子黒板で70インチ以上のものと、置き場所の問題があります。今は、黒板の上からスクリーンを下してプロジェクターを投射する機器もございまして、この機器ですと80インチ程の大きさと教室の左右からも見やすいと思います。従来のプロジェクター型の機器よりもクリアな画面がでるようになりましたし、活用を検討しております。

和田委員)

特別教室にはそういう機器の備え付けを検討していただきたいと思います。

飯塚委員長)

予算的には可能ですか。

教育指導課長)

特別教室に備え付けることは有効的だと思いますので、今後そういう整備の方向性というのとは間違っていないと思います。ですが、取扱い方法などを考えますと、持ち運ぶ電子機器のサイズは50インチほどのものが限界だと思います。エレベーターがある学校でも、それ以上のサイズの持ち運びは業者でないと難しいと思います。テレビ型の電子黒板の良

さはすぐに起動できることですがサイズに限界があるということで、プロジェクター型のものでしたらPCとスクリーンを調整する時間は必要ですが大きさはカバーできるということです。活用のしやすさも含めて検討課題だと思っております。

とりわけ普通教室における授業においては、基本的に従来の黒板の役割も非常に大きいので、その補助的なツールとして電子黒板等は有効的だと思います。手書きの黒板では扱えなかった画像や写真を扱うことができるので大変便利です。教育指導課で所管しているICT機器を使った指導の内容面もあわせて追及していきたい課題でございます。

和田委員)

無線LANの状況はどうなっているのですか。

学校運営課長)

インターネット等に接続できる校内LANは整備されておりますが、有線ではなく無線でコンピューターが使えるような無線LAN化した教室があるのは小学校で13校です。

和田委員)

中学校はまだ整備されていないのですか。

学校運営課長)

中学校は千川中学校のみです。

和田委員)

千川中学校を視察して、インターネットの通信速度が気になりました。インターネットにつながりにくい生徒もいたようで、授業の進みにもかかわることだと思います。

学校運営課長)

千川中プロジェクトで無線LAN化に取り組み、一斉に使用するパソコンの台数によって通信速度も変わってくるという課題等を把握しました。それを踏まえて様々な課題を解決できるように取り組んでいきたいと考えております。

飯塚委員長)

千川中学校のタブレットパソコンは業者から借りたものですか。

教育指導課長)

マイクロソフト社から寄贈されたものです。

飯塚委員長)

他の中学校にはないのですか。

教育総務部長)

千川中プロジェクトで大変教育効果があるという報告も受けております。ですので、各校、学習用コンピューター室に40台程度のパソコンはありますが、平成25年から平成26年にかけてそのパソコンのリース契約の切り替えを検討しています。タブレットパソコンに切り替えて、その際に無線LAN等の整備も進めていきたいと考えております。

飯塚委員長)

千川中学校プロジェクトの成果が大きければ大きいほど、その効果を普及させていくのが教育委員会の役割だと思いますので、教育総務部長のお話のように進めていただきたいと思っております。

教育総務部長)

厳しい財政状況の中でも提案していきたいと思っております。

壺内委員)

情報教育の整備という面では、都内の学校の中でも上位にあると感じましたし、タブレットパソコンの活用の方法も非常に上手いと感じました。

千川中学校の視察では、問題解決型の能力やコミュニケーション能力等の21世紀型スキルの育成ということで、今後が非常に楽しみだと感じました。理科と特別活動の授業では、教員がしっかりICT機器を使いこなしておりましたが、他の教員のICT機器に関する能力が気になります。指導方法や機器の取り扱いについての研修等にさらに力を入れて取り組んでいただきたいです。今後の課題としては、発達段階に応じた教材開発をし、それを全教員が扱えるようにしていただきたいです。

また、玄関に大型のモニターがあり、保護者会等の地域との連携という面でも非常に良いと感じました。これも全校に普及していただきたいと感じました。

教育指導課長)

評価の声をいただき嬉しく思いますが、課題も感じております。ICT機器は有効なツールというのは間違いないと感じていますが、先程のお話にもあったようにICT機器のハード面の整備を進めても無線LANの通信速度が遅い等の問題があります。また、有効な教材の開発が進めば良いのですが、単純に手元の教材や子ども達のノートを大きく映し出したりする活用方法の提案も大切だと感じ、模索を続けております。

千川中学校では、玄関に大型モニターが設置されておりましたが、大変好評で他の学校でも設置が進んでいます。千川中学校で非常に面白い取組をしておりまして、今までは卒業式の際に、保護者の方は卒業証書を授与されている子どもの後ろ姿しかみることができなかったのですが、校長先生側から撮影した映像をモニターに映し出して子どもたちの顔を見ることができるようになっていました。学校側からも新しい活用方法を提案していただいておりますので、良い活用方法については広めていきたいと考えております。

飯塚委員長)

千川中学校の生徒一人一人の学力とICT関係の取組みを合わせて考える必要があります。機器の活用が進んでも基礎学力に結びつかなければ意味がないので、しっかり調査しなければいけません。そして、その調査したデータも提示していただきたいです。

統括指導主事)

区全体としては、ICTに関する取組みは始まったばかりですので、今後調査していきます。

学力の二極化の問題が大きく取り上げられている中で、国の方でも調査されています。その調査報告の中で、ICT教育は学力が低い層の子ども達に有効という報告がありました。しかし、韓国ではパソコンが1人1台配布され、機器の充実や教材の充実という面では整備されているのですが、教員が教材を開発しない、教員が教材を理解しないという問題がでてきております。機器や教材が充実しているために、クリックひとつで授業を進めて授業の質が落ちていると言われております。ですので、本区では、ICTと昔ながらの黒

板を使った授業を合わせて、学力の向上に結びつくようにと考えております。

飯塚委員長)

厳しい財政状況ということもありますし、学力向上につながったというデータを予算要望の際に提出することが必要です。

壺内委員)

指導する側についてはよくわかったのですが、子ども達の反応はどうか。

教育指導課長)

学力にどう影響するかのデータについては、きちんと検証していく必要があると考えています。二極化の問題ですが、授業に関心が持てない子ども達はテレビゲーム等が好きという傾向があるのですが、そういう子どもたちは日頃からICT機器に触れていますので、ICT機器を使った授業に関心をもつ傾向があります。そういう子ども達に有効であると、千川中学校からの報告書にも記載されておりました。多くの子ども達の関心を得ることは非常に重要だと思いますし、手を挙げて発表することが苦手な子どもも、パソコンを使った発表なら積極的になれることがあると思います。今後、十分検証していきたいと思ます。

和田委員)

千川中学校の校長先生もおっしゃっていましたが、作文等を書く際にも、普段なかなか書けない子どもがパソコンを使えばかけるようになるということで驚きました。

あと、マイクロソフト社と東京大学との共同研究ですが、今後はどうなるのでしょうか。統括指導主事)

外国の企業ですので7月から6月というサイクルで活動しており、6月でいったん終了していたのですが、子どもたちのためにということで継続していただき、今回の研究発表が開催できました。教育委員会としては最低3月までは、このまま継続していきたいと考えております。その後、大学や企業の支援がないとしても、教育委員会がバックアップして取り組んでいきたいと考えております。

飯塚委員長)

他にご意見ございますか。

(委員全員異議なし)

2. 学校図書館の整備・充実

<学校運営課長・教育指導課長 資料説明>

飯塚委員長)

ご意見ある方おりますか。

壺内委員)

学校図書館司書がいると、やはり図書室の活用の仕方が上手いと感じました。

また、図書室の位置によって図書室の活用の度合いが違うと感じます。もちろん中身も重要で、古い本がたくさんあると活用されません。朋有小学校では本の整理が大変進んでいると感じました。図書の充実は人材、配置、図書の充実が重要だと思うのですが、図書室の位置はどのようになっているのですか。

教育総務部長)

現在、学校改築を進めており、それらの学校につきましては、図書室は学校の中心に置くことを基本としております。図書室の名称も学習センター等に変更し、多目的に活用でき、誰でも活用しやすい学校の中心に置くという考えです。

教育指導課長)

図書室の位置の現状についてですが、ほとんどの学校で3階に位置しております。図書室は、今まで学校教育全体の付帯設備という認識があったと思いますが、調べ学習や問題解決学習等に活用できるということで重要性が増してくると思いますので、今後は学校の中心に置くのが理想的だと考えております。3階や4階に図書室がある学校については、図書をそれぞれの学級に持ち出したり、廊下に図書コーナーを作ったりして工夫していただいています。

和田委員)

22年度からは経費も充実しておりますので、有効に活用していただきたいです。

千川中学校では、図書室が4階にあり、司書もいないという状況ですが、現場の取組みで変わってくると思いました。朝に10分間の読書の時間をとり、自宅から好きな本を持ってきて読むこともできるので興味も湧くと思えますし、職員室の前で新しい本を並べたり、工夫が素晴らしいと思いました。新しい本が入ったことを伝えると図書室に生徒が大勢来るということも聞きました。学校の工夫がとても大きいと感じました。図書に興味を持たせて、子ども達を図書室に向かわせることが大切です。

朋有小学校でも先生が読み聞かせをしているということでしたが、なるべく地域の方や保護者の方をお願いして、図書室に足を運んでいただいて参加していただきたいと感じました。

飯塚委員長)

朋有小学校は独立した図書館があるのですから、保護者にも図書館を開放して、子どもが読む本を保護者が読んでみるというのはいかがでしょうか。保護者が読むことで子どもの読書意欲につながると思います。

教育指導課長)

保護者への開放については、取り組んでいる学校もあります。朋有小学校はまだ整備中ですので開放しておりませんが、開放することを考慮して外向きの出入り口もございますので視野には入っていると思います。ですが、保護者の方が小さな子どもを連れてたまり場のようになってしまいますと、基本は小学生の教育のための場でありますので、今後の検討課題であると感じます。

飯塚委員長)

読書活動を重点的に取り組むということであれば、地域の方々に開放することはとても重要だと思いますので、是非検討していただきたいと思います。

壺内委員)

学習指導要領の全面実施もあり、言語活動の充実が優先課題となっております。図書館整備も重要な項目に入っておりますので、今後も取り組んでいただきたいです。

飯塚委員長)

資料に読書フェスタについても記載されておりますが、他校との交流や自分と違った意見を取り入れる良い機会ですので、読書フェスタも充実していただきたいと思います。

他によろしいですか。

(委員全員異議なし)

3. 安全・安心な学校づくり事業(セーフスクール)

<教育指導課長 資料説明>

飯塚委員長)

ご意見ございますか。

和田委員)

実際に取り組んでいた5、6年生の児童が卒業した際には、中学校にも広めていただいと感じました。中学生は、大きな災害が起きた際には、主力として動かなければならないこともあるかと思います。学校での安全から、自宅や地域の安全にもつながるように教育していただきたいです。

壺内委員)

昨年と比較してけがが半減していたのですが、子ども達の遊び方にも変化があったかと思えます。子ども達の意識も変化していると思えますので、是非継続していただきたいと思えます。

朋有小学校が重点的に取組みを始めたのは理由があるのですか。

教育指導課長)

豊島区の中でも代表される都心部にあるということが一つの理由です。学校の近くで幹線道路が交差しておりますし、学区域も広いために児童数が多く、子ども達の通学範囲も広がっています。そのため、保健室の対応が年間2000件近くありました。都心部の典型例ということで、朋有小学校にお願いしました。

飯塚委員長)

朋有小学校と比べて、児童数が多い、けがの多い学校等はどうなっているのですか。

教育指導課長)

何も取り組んでいない学校では、児童数によって多少異なりますが、どこでも朋有小学校クラスのけがが発生しております。平均して年間1000件近くのけがが発生しております。朋有小学校では、けがが半減しておりますし、他の学校にも必ず普及していきます。

教育総務部長)

この取組みは、朋有小学校から普及していくことを目標としています。最終的には、全23校の小学校でインターナショナルセーフスクールの取組み成果の普及を図ることです。

自転車安全教室も以前から実施していますが、以前はPTA主催でしたが学校主催となりました。それに合わせて、土曜公開授業の際に全児童を対象とし、授業として行うということも考えております。区もこの取組みを評価して自転車のヘルメットの助成が始まりました。朋有小学校でも安全教室に参加すると免許証を配布し、それを持ってきていただく

と3千円の助成をします。また、保護者だけでなく地域の方にも協力していただき、危険な場所を発見し、気づきマップを作成しています。こういった具体的な施策を他の学校にも広めていきたいと考えております。

飯塚委員長)

けがや事故の多い少ないというのは、教員一人一人の意識も大きく関わってくるのではないのでしょうか。

教育指導課長)

教員の意識も重要ですが、子ども達自身がけがの起きやすい場所や時間を理解するのがさらに大切だと考えております。

飯塚委員長)

自分の授業や仕事が大切で子どものけがにはあまり配慮しない教員もいると思います。そういう教員が増えてしまうとけがも多くなってしまいますので、けがに対する教員の意識を高めていただきたいと思います。

教育指導課長)

全教職員、PTA、保護者、地域の方が一体となって子ども達の安全に対する意識を高めようというのが朋有小学校での取組みの考えです。そういう教員はいないと思いますが、朋有小学校の取組みを通じて、心がけ一つでけがの数が変わるということを示していくことも検討したいと思います。

和田委員)

自転車安全教室を土曜日に開催するのはとても良いと思います。豊島区の交通事故の46パーセントが自転車事故です。各警察や町会で安全教室を開いても平日である場合が多く、なかなか保護者が参加できないのが現状です。地域と保護者が一体となった自転車安全教室を是非開催していただきたいと思います。

教育指導課長)

自転車事故に関して、学校教育が果たす役割も大きいと思いますが、法制度にも大きな問題があると思いますし、大人が見本になる乗り方をしているのかというと、そうでない大人が多いと思います。全体で取り組むべき問題であり、教育だけで完結する問題でもないのですが教育にて取り組む意義はあると考えております。

教育総務部長)

インターナショナルセーフスクールの認証取得要件には教師、生徒、事務スタッフ、保護者との協働という項目もありますので、地域全体の意識を高めるための取組みです。地域の方、保護者、児童、それぞれが主体となって取り組む組織があることも条件の一つです。そういった組織のなかで、自転車の安全についても地域全体で取り組んでいこうと考えています。

統括指導主事)

取組みを全校に広めていくということについてですが、朋有小学校は今年度の認証取得の後も、安全教育の研究校の指定をしております。認証取得の後も平成25年の研究発表に向けて取組み、継続して安全に対する意識を高めていこうと考えております。

飯塚委員長)

安全教育は学習指導と共に車の両輪をなすもので、素晴らしい取組みだと思います。今後も継続してください。

教育総務部長)

朋有小学校にセーフスクールの取組みについて依頼した当初、なかなか受け入れてもらのに時間がかかりましたが、けがの件数が減って、子ども達の意識が高まると自然に教員の意識も高まっていったように感じます。

飯塚委員長)

児童・生徒がいるからこそ、学校・教員がありますので、そういう意識についても教育指導課で指導して行ってください。

では、他に何かございますか。

(委員全員異議なし)

・提出された資料

資料N o. 3-01 学校視察評価表

資料N o. 3-02 事務事業評価表

資料N o. 3-03 外部委員評価表

各課説明用資料